

令和 6 年度 施策評価表

施策	0302	芸術・文化の振興	施策担当部	教育委員会	部長	川下隆治
			施策担当課	文化振興課	課長	大野安生
施策の方針	芸術・文化に接する機会を提供するとともに、情報発信に努める。また、関係団体の育成・支援や小・中学生の文化活動を支援する。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 芸術・文化事業への参加者数	人/年	13,066	13,000 7,831	13,000 13,830	13,500 66,971	13,700	13,700	496.1%	488.8%
②			-----	-----	-----	-----	-----		
③			-----	-----	-----	-----	-----		
④			-----	-----	-----	-----	-----		
⑤			-----	-----	-----	-----	-----		

施策達成状況の説明

市主催・共催・委託事業並びに文化協会、文化団体及び大村市文化・スポーツ振興財団が行う事業は、コロナ禍前と同様に開催され、参加者が回復した。
また、令和5年度は、財団共催事業の「ワールドドリームサーカス」が開催され、市内外から多くの入場者があったことで、実績値は大幅に増加した。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	85,600	193,082	71,345	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	11,600	
	その他	11,351	17,512	18,259	
	一般財源	74,249	175,570	41,486	
	人件費	8,670	10,057	—	
フルコスト	94,270	203,139	—		

施策の概要（細施策）

030201	芸術・文化に接する機会の提供	市民が優れた芸術・文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術・文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。
030202	芸術・文化団体の育成・支援	市民の主体的な芸術・文化活動の支援と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を促進します。 また、将来を担う子どもたちの芸術文化活動の活性化を図るため、小・中学生の文化活動を支援します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

令和5年度は、文化団体の芸術・文化活動が、コロナ禍前の状況に戻っている。
 しかし、コロナ禍による活動縮小の影響は残り、文化団体の構成人数は減少が続き、団体の活動及び存続に影響を及ぼすおそれがある。
 本市の芸術・文化を振興するためには、活動経費面での支援が、今後さらに必要となっていくと考えられる。
 文化・スポーツの活動の場や機会を提供する体育文化センターが、開設25年を超え経年による不具合が生じており、計画的な設備改修が必要となっている。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

市民の芸術・文化活動を支援するため、活動経費の負担軽減のための補助を継続して行う必要がある。
 芸術・文化活動の拠点である体育文化センターは老朽化しており、施設設備の更新をしっかりと行い、利用者が安全安心、快適に利用してもらう必要がある。

令和7年度新規事業

	事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	